

第7回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会 議事録（要旨）

日 時： 令和7年6月26日(木) 午後7時～午後8時20分
場 所： 吉川町公民館 研修室
出席者： 岩崎 正勝 令和5年度吉川地区区長協議会長
石田 正治 吉川地区区長協議会
福本 和也 吉川地区区長協議会
富依 裕仁 吉川地区区長協議会
森下 顕 吉川町まちづくり協議会
谷郷 祐次 吉川町まちづくり協議会
白木 拓真 吉川町まちづくり協議会
山田 知美 よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
黒田 えりか よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
青島 静香 よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
中上 智貴 よかわ認定こども園・いずみ認定こども園
阪本 俊治 吉川小学校 PTA
山田 一貴 吉川小学校 PTA
福田 亮 吉川中学校 PTA
藤本 理恵 吉川中学校 PTA
杉原 千二三 吉川小・中学校学校運営協議会
富田 佳泰 吉川小学校 校長
河原 正則 吉川中学校 校長
(事務局)
森田真規教育総務部長、山口正明教育振興部長
仲谷淳小中一貫教育推進室長
本岡伸朗小中一貫教育推進室主査
林和己小中一貫教育推進室主査

傍聴人の数：3名

(会長)

定刻となったので、ただいまから第7回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会を開会する。前回の第6回から時間が空いたが、その間に教育委員会で基本構想（案）をまとめてもらったので、ここで内容を再認識し、地域への説明を進めていってほしい。

それでは基本構想（案）の策定と地域への説明会、基本構想策定後の予定について、事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

（会長）

では先ほどの事務局説明についてご意見ををお願いします。

（委員）

8 ページの教職員の組織で、教職員が 17 人いるならファジーな配置が可能ではないかと思うが、前期課程と後期課程に分けた理由は何か。それから児童生徒数が何人以上だったら複数学級になるのか。それから 11 ページの学校の整備方針の中で、地域交流拠点のような施設は考えていないのかということと、12 ページで教室が前期 6、後期 3 と書いてあるが、複数学級になった場合の対応はどう考えているのか教えてほしい。

（事務局）

教職員の配置は免許の関係もあり形式上分かりやすく前期と後期で分けているが、実際は一体で教育する環境を想定している。学級数については、35 人を超えると複数学級になる。地域との交流を想定するエリアや施設は整備を予定しているが、今後の開校準備委員会で具体的に検討を予定している。教室数については複数学級になる可能性も想定して今後検討しなければならないと考えている。

（会長）

地域との交流施設は構想の中に書いていないのか。それでも基本計画で起こせるのか。

（事務局）

地域との交流についてはこの地域協議会でかなり議論いただいた内容である。地域交流については学校の整備方針の 3 番「地域への愛着と誇りを感じる学校環境」に含まれると共に、次の施設概要のところに「地域保護者連携推進室」というのを書いているので、基本計画にも問題なく入ると考える。

（委員）

8 ページの令和 12 年度の想定児童生徒数が 230 名とのことだが、兵教大附属や三田学園等に行く子どももいる中で、この 230 名は若干多いのではないか。それから 10 ページに特認校制度の導入として「市内のどこからでも通学を認める」とあるが、吉川以外の地域から来る場合の交通手段、送迎はどうなるのか。それから山村留学について、三木市は全国的にアピールしているかどうかということをお聞きしたい。

（事務局）

8 ページの 230 名については、住民基本台帳における令和 7 年 3 月 11 日現在の人口のため、市外の学校への通学を想定した人数にはなっていない。特認校制度における交通手段は保護者の送迎を想定しており、スクールバスでの送迎は想定していない。山村留学については、今は想定していない。

(会長)

6 ページの 273 名には市外の学校に通学している子が入っていないので、実際は 273 名以上いる現状から 230 名に減ることになる。それが現状だから、それだけ良い学校をつくらないといけない。

(委員)

特認校制度について、今までの話の中でも特色あるもので人が増えるような仕組みをつくっていかうという話だったと思うが、そのための施設整備についてはどう考えておられるのか。視察に行った能勢ささゆり学園も特徴的な施設だった。

(事務局)

具体的な施設整備は今後の検討となる。

(副会長)

特認校制度の導入で吉川に来る人数は想定しているのか。また、他市町で実際特認校制度を導入している学校の現状はどうか。

(事務局)

人数を見込めるかどうかは難しいが、先進校の事例では数名から十数名程度の事例が多い。中には多く来られている学校もあるが個別の事情も含めてレアケースである。

(委員)

先進校のある自治体の規模等をもう少し詳しく教えてほしい。

(事務局)

兵庫県内の特認校は十数校程度である。神戸市や養父市、西脇市、三田市等にある。

(委員)

特認校の送迎は基本的に保護者の送迎とあったが、例えば路線バスで通える場合は路線バス通学も認められるのか。

(事務局)

通学の時間帯が合えば、路線バスの利用も可能だと考える。

(委員)

特認校制度で吉川以外から来る場合でも、例えばスクールバスのバス停まで来たらスクールバスに乗れる等も可能性を検討しても良いのではないかと。

(事務局)

安全管理とのバランスを考えながら、開校準備委員会で具体的に検討する。

(委員)

幼保小の架け橋プログラムも始まっているので、一貫した教育をするのであれば就学前の環境も一緒に考えてもいいのではないかとと思うが、そこはどう考えているか。

(事務局)

当然小学校、中学校の9年間に、就学前も繋げる方向が望ましいが、今の段階では一緒に考えるのは難しいと考える。

(委員)

地域への説明会は開くことは決定か。

(事務局)

この場でご意見をいただき、問題なければ開催したいと考えている。地域には回覧を回し、小学校、中学校には「すぐーる」経路で配信、就学前はこども園経路で配布を考えている。

(副会長)

回覧は意外と見ないのではないかと。

(会長)

全戸配布にしてはどうか。

(事務局)

では全戸配布として各区長に配布できるように準備する。

(会長)

せっかくの説明会なので一人でも多く来てもらえるようにしたい。

それから学校用地の選定について確認したい。通常は用地の選定はA案、B案、C案をつくって費用計算をした上で決めるが、予算の関係もあってそれができていない中で、それでも別紙1の14ページ下から2行目に「最終的には吉川高校に建設すること最も適切と判断しました」と書いてあるとおり、そのように決めたということか。それからスケジュールを見ると、早ければ令和7年度中に基本計画や基本設計に着手する想定だが、これらは専門の事業者へ委託する必要がある。また、建物の解体にはそれなりの費用が必要であることから、予算取りもよく考えて進める必要がある。

と思う。

そして最後に、これはお願いになるが、子どもに一番最適な環境で勉強ができるような施設の整備をしてほしいということで、使えるものをあえて潰す必要はないと思うが、無理して古い校舎を使わず、新たなものをベースに基本計画、設計等を進めてほしいと思っている。

(事務局)

仰る様に、広さや安全性、教育活動への影響等、費用以外の要素を総合的に検討して吉川高校が最適と判断した。実際今、土地、建物について県と継続的に協議を進めているが、基本計画、基本設計の段階では費用の算定は必要だと認識している。また、基本計画、設計の委託費等についても当初予算には入っていないが、補正も含めて考えていきたい。また、既存の施設を使って結局いいものが出来なかったということは避けたい。三木市で初めて小中一貫校であり、ソフト面もハード面もこれが三木のモデルとなる事を考えながら進めていきたい。

(委員)

開校準備委員会について、ソフトを実現するためのハードであることから、組織ごとにバラバラに話をしていくというよりは、ソフトとハードが混じるようなやり方を検討していただきたい。それと三つの部会に分かれているが、進捗度合いが異なると思われるため、各部会の進め方、実施時期をよく検討した方がいいと思う。それから教育課程部会には教職員がメインで入っているが、ここに保護者や地域の想いを反映させる必要もあるのではないかと思うため、検討をお願いしたい。

(事務局)

検討させていただく。

(会長)

開校準備委員会はいつぐらいになる予定か。

(事務局)

早くても年明けになると考えている。

(会長)

やはり少しでも良い教育環境をつくり上げていきたいというのは皆さん一致しているところだと思う。その思いを教育委員会もしっかりと受け止めてもらい、より良い構想、計画、設計、最終的には学校という形で現れてくると思うが、ソフトも含めて進めていただきたい。また、7月27日と30日は皆さんご都合が合えば是非とも参加していただきたい。第8回は8月の上旬ということでまた、日程調整して案内させていただく。それでは最後に閉会にあたり森下副会長から挨拶をお願いする。

(副会長)

本日の会で多くの貴重な意見や提案が交わされ、私達の目指すべき方向性について再確認し、今後の課題も見えたと思う。この場では発言できなかった人もいるかもしれないが、その場合は後で事務局に話していただきたい。そういった中でみんなで協力し、できる限り皆さんの納得いく子どものための施設一体型小中一貫校設置ができるよう今後も協力してやっていきたいと思うのでよろしく願います。それでは第7回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会を閉会する。